

## 授業科目 球技指導法実習 II (ゴール型)

【担当教員名】 高沢 文隆		対象学年	3・4	対象学科	スポ
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
○		○		◎	
【概要・一般目標：GIO】 バスケットボールの高度・専門的な知識、理論を習得し、指導者として必要な練習方法、指導方法を学び、実践する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. バスケットボールの指導計画を立案し、実践、評価する。</li> <li>2. バスケットボールの専門戦術について実践する。</li> <li>3. バスケットボールの高度・専門的な練習方法、指導方法を学ぶ。</li> <li>4. バスケットボールの高度・専門的なトレーニング方法を学ぶ。</li> <li>5. バスケットボールの特性を理解し実践する。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	オリエンテーション		5	講義、担当：高沢 文隆	
2	指導計画の立案、評価 1		1・5	講義、実習、担当：高沢 文隆	
3	指導計画の立案、評価 2		1・5	講義、実習、担当：高沢 文隆	
4	ボールハンドリングの応用技術・練習方法		3・4	実習、担当：高沢 文隆	
5	各種シュートの応用技術・練習方法		3・4	実習、担当：高沢 文隆	
6	効果的な 1on1 技術と合わせ		2・3・4	実習、担当：高沢 文隆	
7	2men ゲーム、3men ゲームの応用		2・3・4	実習、担当：高沢 文隆	
8	高度なモーションオフENSEの理論、練習方法		2・3・4	実習、担当：高沢 文隆	
9	有効なデフェンスの理論		2・3・4	実習、担当：高沢 文隆	
10	ハーフコートマンツーマンディフェンスの理論、練習方法		2・3・4	実習、担当：高沢 文隆	
11	ゾーンディフェンスの理論、練習方法		2・3・4	実習、担当：高沢 文隆	
12	オールコートディフェンスの理論、練習方法		2・3・4	実習、担当：高沢 文隆	
13	ファーストブレイクの応用、練習方法		2・3・4	実習、担当：高沢 文隆	
14	バスケットボールの有効なトレーニング		2・3・4	実習、担当：高沢 文隆	
15	授業のまとめ		1・2・3・4・5	レポート、担当：高沢 文隆	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況 30% 授業態度 30% レポート 40%			【履修上の留意点】		